

●海兵團練習部令

〔大正九年六月二十四日 勅令第百八十八號〕

改正

昭和一二年第八七號、一六年第九七四號、一八年第六〇九號、一九年第一號、第五九〇號

リ海軍特別志願兵タル海軍二等兵ノ教育ヲ掌ル
前三項ノ外練習部ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ海軍准士官以
下ニ對シ各種ノ講習ヲ實施ス

朕海兵團練習部令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム（總理、海軍大臣副署）

海兵團練習部令

第一條 海兵團練習部ハ各海兵團ニ之ヲ置ク

練習部（第四項ニ掲タル練習部ヲ除ク）ハ海軍大臣ノ定ムル所

ニ依リ海軍一等兵及二等兵、初任海軍准士官、軍樂術特修兵

タルベキ海軍下士官及兵並ニ海軍豫備員候補者ノ教育ヲ
掌ル

前項ノ外横須賀海兵團ノ練習部ハ海兵團練習部ニ於ケル初任
海軍准士官、軍樂術特修兵タルベキ海軍下士官及兵並ニ海軍
豫備員候補者ノ教育ト其ノ規畫トニ關スル研究調査ヲ掌リ武
山海兵團ノ練習部ハ海兵團練習部ニ於ケル海軍一等兵及二等
兵ノ教育ト其ノ規畫トニ關スル研究調査ヲ掌リ大阪海兵團ノ
練習部ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ海軍特別志願兵タル海軍
二等兵ノ教育ヲ掌ル

鎮海海兵團及高雄海兵團ノ練習部ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依

第三條 練習部ノ教育綱領ハ海軍大臣之ヲ定ム

第二條 練習部ノ教育綱領ハ海軍大臣之ヲ定ム

教頭

教官

前項職員ノ外横須賀海兵團及武山海兵團ニハ研究部長及研究
部部員ヲ置ク

第四條 海兵團長ハ當該鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ノ

指揮ヲ承ケ練習部ノ部務ヲ總理ス但シ横須賀海兵團及武山海
兵團ノ練習部ニ於ケル第一條第三項ニ規定スル研究調査ニ付
テハ海軍大臣ノ指揮ヲ承ク

第五條 教頭ハ團長ヲ佐ケ教育ヲ監理ス

第六條 教官ハ團長ノ命ヲ承ケ教育ヲ擔任ス

第六條ノ二 研究部長ハ團長ノ命ヲ承ケ第一條第三項ニ規定ス
ル研究調査ヲ掌理ス

第六條ノ三 研究部部員ハ研究部長ノ命ヲ承ケ服務ス

第七條 團長ハ必要ニ應シ第三條ニ掲タル職員以外ノ海兵團職員ヲシテ練習部ニ關スルコトヲ掌ラシムルコトヲ得

第八條 練習部ニ於テ教育スル海軍一等兵及二等兵ヲ新兵、初任海軍准士官ヲ准士官學生、軍樂術特修兵タルベキ海軍下士官及兵ヲ軍樂術練習生ト稱ス

第九條 海兵團長ハ當該鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ノ認可ヲ受ケ准士官學生ヲ艦船部隊ニ派遣シ修業セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ派遣セラレタル准士官學生ハ其ノ修業ニ關シテハ當該艦船部隊ノ長ノ指揮ヲ承ク

第十條 本令ニ定ムモノヲ除クノ外新兵、准士官學生及軍樂術練習生ニ關スル事項ハ海軍大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ大正九年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 海軍ノ諸學校ニ於ケル海軍二等兵

ノ教育ニ關スル件

改正 昭和一九年第五九〇號

勅令第三百七十六號
昭和十八年四月十日

朕海軍ノ諸學校ニ於ケル海軍二等兵ノ教育ニ關スル件ヲ裁可シ
茲ニ之ヲ公布セシム（總理、海軍
大臣副署）

當分ノ内海軍砲術學校、海軍水雷學校、海軍對潛學校、海軍航
海學校、海軍通信學校、海軍電測學校、海軍潛水學校、海軍工
機學校、海軍工作學校及海軍練習航空隊ニ於テハ當該學校令又
ハ海軍練習航空隊令ニ定ムルモノノ外海軍大臣ノ定ムル所ニ依
リ海軍二等兵ニ對シ海兵團練習部ニ於ケル新兵ノ教育ニ代ルベ
キ教育ヲ行フコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス